

3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先に考えて、災害時には先頭に立って復旧活動に従事するとともに、防災支援活動、環境美化・保全活動、社会福祉活動、建設業ふれあい活動などにも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地元企業ならではの工夫により、住民にもたいへん喜ばれています。

平成 30 年度に顕彰した会員企業のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 31 事例を紹介します。

No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	秋田県	(株)協和土建	秋田県豪雨災害における復旧支援
B1-02	群馬県	沼田土建(株)・佐田建設(株)・河本工業(株)	豪雪に伴う福井県に対する道路除雪支援
B1-03	鳥取県	(株)谷口工務店	鳥取県豪雨災害における復旧支援
B2-01	愛知県	(株)加藤建設	地域防災運動会の実施
B2-02	三重県	(株)山下組	災害時避難施設として自社ビルを開放
B3-01	北海道	こぶし建設(株)	用水路周辺の清掃美化活動
B3-02	青森県	(株)木村建設	道路の点検・清掃美化活動
B3-03	青森県	(株)西田組	河川の清掃美化活動
B3-04	青森県	(株)三村興業社	公園の清掃美化活動
B3-05	青森県	(株)柏崎組	公園・道路の清掃美化活動
B3-06	青森県	(株)中屋敷建設	小・中学校への有機肥料寄贈と道路清掃活動
B3-07	山形県	(株)王祇建設	道路の清掃美化と歩道の除雪活動
B3-08	福島県	藤田建設工業(株)	駅舎周辺の清掃美化活動
B3-09	福島県	鈴五建設工業(株)	公園周辺の清掃美化活動
B3-10	神奈川県	工藤建設(株)	道路の清掃美化活動
B3-11	神奈川県	(株)小島組	道路の清掃美化活動
B3-12	静岡県	中村建設(株)	学校林の整備保全活動
B3-13	静岡県	(株)鈴恭組	道路・河川の清掃美化活動
B3-14	鹿児島県	(株)内門工務店	公園の清掃美化活動
B4-01	北海道	清水開発工業(株)	「子供 110 番の車」による防犯活動
B4-02	宮城県	木皿建設(株)	「子ども 110 番パトロール」活動
B4-03	福島県	八光建設(株)	日本赤十字社献血活動への協力
B4-04	富山県	ユースン建設(株)	パトロール隊による地域の防犯活動
B4-05	兵庫県	(株)池内工務店	日本赤十字社献血活動への協力
B5-01	北海道	(株)玉川組	少年野球大会の開催
B5-02	北海道	(株)西村組	パークゴルフ大会の開催
B5-03	宮城県	(株)八重樫工務店	自社工場で夏まつりの開催
B5-04	長崎県	門田建設(株)	ソフトボール大会の開催
B6-01	富山県	梅本建設工業(株)	地元要望による地域整備活動
B6-02	岡山県	(株)三幸工務店	小・中・高校生の現場見学会の開催
B6-03	鹿児島県	鎌田建設(株)	小・中・高等学校での出前授業の実施

(1) 災害復旧支援活動

事例 B1-01 : 秋田県

秋田県豪雨災害における復旧支援 ((株)協和土建)

平成 29 年 7 月 22 日から 23 日にかけて秋田県内で発生した集中豪雨は、各地で甚大な冠水被害をもたらし、人々の生活や経済活動に深刻な打撃を与えた。

(株)協和土建は、秋田県並びに大仙市所管の道路や河川において、冠水した道路の交通規制や障害物撤去、河川決壊箇所での大型土のう設置等の応急作業に奔走した。また、地域の早期復旧に向けて、被災ゴミの仮置き用地の提供及びゴミの分別収集運搬を行うとともに、民間の農地被害についても、現場復旧や書類申請への協力を随時行い、多くの農地で年度中の作付けを可能とした。

さらに、8 月 24 日から 25 日の豪雨災害においても、同様に災害復旧支援活動を実施した。



秋田県豪雨による冠水被害



大型土のうの設置

事例 B1-02 : 群馬県

豪雪に伴う福井県に対する道路除雪支援 (沼田土建(株)・佐田建設(株)・河本工業(株))

平成 30 年 2 月、福井県内では記録的な大雪により、多くの道路が通行不能となった。

群馬県に所在する沼田土建(株)、佐田建設(株)、河本工業(株)は、関東地方整備局の T E C - F O R C E (緊急災害対策派遣隊)からの要請を受け、福井市周辺の道路除雪を支援するため、除雪機械オペレーター及び作業員(各社 2 名)を緊急派遣した。

3 社は連携して、昼夜にわたり各地で道路除雪の支援作業を行った。関東地方整備局は、この活動が迅速な応急復旧に大きく貢献したとして、3 社に感謝状を贈呈した。



路肩での除排雪



群馬県からの除雪応援隊

事例 B1-03 : 鳥取県

鳥取県豪雨災害における復旧支援 ((株) 谷口工務店)

平成 29 年 5 月末から 6 月にかけて鳥取県で発生した集中豪雨によって、八頭郡智頭町市瀬地内の智頭トンネル付近では、土砂崩れがたびたび発生し、地域の幹線道路である国道 53 号線が全面通行止めとなった。

(株) 谷口工務店は、鳥取県から「災害応援対策の協定」に基づく要請を受け、直ちに土砂流出対策工事に取り掛かった。現場は急峻で狭隘な地形のため、小型重機のみでの作業となり、二次災害の危険性もあることから、天候を確認しながらの作業となった。

同社は、作業の効率化と土砂流出の抑制方法について関係機関と検討を重ね、土砂ポケットの確保、強靱ワイヤーネットの設置、モルタル吹付による大型水路の確保、治山ダムの新設などの対策工事に、全社一丸となって取り組んだ。

同社の迅速かつ的確な対応による早期復旧への貢献に対して、八頭県土整備事務所より感謝状が贈られた。



智頭トンネル付近での土砂流出



土砂ポケットの確保



強靱ワイヤーネットの設置



モルタル吹付による水路の確保



治山ダムの新設

(2) 防災支援活動

事例 B2-01：愛知県

地域防災運動会の実施 ((株)加藤建設)

(株)加藤建設は、地域の防災力（地域住民の団結、防災知識の保持、継続的備え）向上を図るため、平成 23 年より毎年、地域防災運動会を実施している。

この運動会は、同社の提案を受けた新蟹江学区の町内会、消防団、PTA 等が主催し、行政が協力、町内の建設会社 4 社が協賛する形で開催され、「バケツリレー」や「土のう積み体験」など災害時すぐに役立つプログラムで、毎回約 400 名の参加者を集めている。

同社は、今後もこの運動会を盛り上げることで、地域との絆を深めたいと考えている。



バケツリレー



土のう積み体験

事例 B2-02：三重県

災害時避難施設として自社ビルを開放 ((株)山下組)

(株)山下組では、地震津波発生時に自社ビルを避難施設として開放するため、外部階段や避難生活設備を設置するとともに、非常食や各種防災グッズを常備している。

避難生活設備としては、室内テントやエアマットをはじめ、断水時でも使用できる台所、シャワー、トイレを完備している。さらに、事務所と監督車全台に AED を設置し、救急活動も可能であるが、同社は、できれば使わずに済むことを願っている。



非常食・防災グッズの備蓄



災害時避難施設の案内

(3) 環境美化・保全活動

事例 B3-01：北海道

用水路周辺の清掃美化活動（こぶし建設(株)）

こぶし建設(株)は、平成 21 年より、岩見沢市志文町の幹線用水路周辺で、樹木の枝払いや下草刈り、道路清掃を行うとともに、揚水機場敷地内にベゴニア、サルビア、マリーゴールドの花壇を造成し、毎月手入れするなど、清掃美化活動に力を入れている。

同社のこれらの活動は、揚水機場の工事施工をきっかけに始めたもので、平成 27 年には、北海土地改良区と「施設の環境整備・保全及び維持増進活動」の実施協定を締結して、活動の幅を広げている。

同社は、これからも地域の美しい環境づくりに尽力していきたいと考えている。



用水路周辺の下草狩り



マリーゴールドの手入れ

事例 B3-02：青森県

道路の点検・清掃美化活動（(株)木村建設）

(株)木村建設は、平成 20 年より定期的に、本社がある青森市の国道 4 号線沿いの 3 か所の歩道橋（岡造道、合浦、浪打）周辺で、歩道や縁石の破損箇所・融雪設備の点検、歩道わきや歩道橋階段のゴミ拾いなどの道路点検・清掃美化活動を実施している。

この活動は、国土交通省のボランティア・サポート・プログラム（VSP）の一環で、地域貢献に対する従業員の意識向上につながるるとともに、環境保全の大切さを地域住民にアピールする啓発活動としても位置付けられている。

同社では、住み良い環境を維持するために、こうした活動を継続したいとしている。



歩道橋周辺の清掃



縁石の損傷発見

事例 B3-03：青森県

河川の清掃美化活動（(株)西田組）

(株)西田組は、環境ボランティア団体「荒川の水辺をきれいにする会」を組織して、平成24年より毎年1回、青森市の本社近くを流れる荒川の清掃美化活動を実施している。

この活動は、「きれいな川づくり 進んでゴミ拾いをしよう」のスローガンのもと、荒川の右岸・左岸約300mにわたってゴミ拾いを行うもので、流域の住民にきれいな川に親しんでもらうことを目的としている。

同社は、ゴミのないきれいな青森市を目指して、今後ともこうした活動に積極的に取り組んでいく方針である。



荒川の清掃美化活動

事例 B3-04：青森県

公園の清掃美化活動（(株)三村興業社）

(株)三村興業社は、地元の青森県おいらせ町の町内会と「明神山公園ボランティア協定」を交わして、平成22年より毎年2回、明神山公園の清掃美化活動を実施している。

明神山公園は、土鼻神社が奉られ、町民の憩いの場として活用されるとともに、コミュニティ防災センターが設置されて、地域の防災避難場所に指定されている。公園の維持管理は地域の町内会が行ってきたが、近年は高齢化により町内会だけでは管理が困難な状況となったことが、この活動を始めのきっかけとなった。

同社は、平成27年2月、おいらせ町より「いきいきランラン美化賞・環境美化賞」を受賞しており、今後もこうした活動を通して地域に役立ちたいと考えている。



明神山公園の清掃美化活動

事例 B3-05：青森県

公園・道路の清掃美化活動（(株)柏崎組）

(株)柏崎組は、平成9年より、地元の青森県おいらせ町の下田公園「せせらぎ水路」の清掃美化活動を実施している。

これは、子供たちが水路で安全に水遊びができるように、また、花見客にきれいな公園で楽しんでもらいたいとの思いで始めた活動で、平成19年度からは、おいらせ町観光協会が実施する公園整備作業に合わせて行っている。

また、平成19年6月より、国土交通省のボランティア・サポート・プログラム（VSP）として、国道45号線沿いの花壇管理と法面の除草等の活動を継続している。

同社は、今後も地域にふさわしい環境づくりに貢献したいと考えている。



下田公園「せせらぎ水路」の清掃



国道沿いの花壇の管理

事例 B3-06：青森県

小・中学校への有機肥料寄贈と道路清掃活動（(株)中屋敷建設）

(株)中屋敷建設は、平成28年より毎年、三沢市内の小・中学校に有機肥料「ステビアキング」を寄贈するとともに、年2回、三沢市の道路「クリーン大作戦」に参加している。

同社が開発した「ステビアキング」は、ステビアの粉末を下水汚泥と混ぜ合わせた循環型のリサイクル肥料で、学校では花壇や菜園での教材として活用されている。また、「クリーン大作戦」では、ゴミ拾い・草取り・花壇の整備のほか、ゴミ運搬も積極的に担うことで、市民との交流を図る良い機会となっている。

同社は、今後もこうした地域に根ざした活動を継続したいとしている。



「ステビアキング」の寄贈



道路クリーン大作戦

事例 B3-07：山形県

道路の清掃美化と歩道の除雪活動（株）王祇建設

（株）王祇建設は、社員で「フラワークラブ」を組織し、昭和 61 年より、鶴岡市の会社前の国道 112 号線の歩道沿いで、地区の花であるサルビアを植栽し、水掛け、草刈り、周辺のゴミ拾いなどの清掃美化運動を続けている。

また、鶴岡市下山添地区及び市・国との間で締結しているボランティア・サポート・プログラム（VSP）の一環として、冬期には国道 112 号線の歩道の除雪作業を行って、歩行者の安全を確保しており、地域住民から感謝されている。

同社の地域活動に対して、平成 24 年、酒田河川国道事務所より感謝状が贈られた。



サルビアの植栽



歩道の除雪作業

事例 B3-08：福島県

駅舎周辺の清掃美化活動（藤田建設工業（株））

藤田建設工業（株）は、平成 16 年より毎年 4 月、JR 水郡線の矢祭山駅から磐城守山駅までの 18 の駅舎とその周辺で、清掃美化活動を実施している。

これは、5 月の大型連休で帰省する人々を気持ちよく迎えようと始めた活動であり、特に磐城石川駅では、地元住民と共に「花見が丘をつくる会」を結成し、福島県の環境美化サポート制度「うつくしまの道・サポート制度」を利用して、駅前に花々を植栽している。

同社は、地域に愛され信頼される企業をモットーに CSR 活動に力を入れており、この駅舎清掃美化活動が、誰でもできる身近な活動として広まり、多くの人々が地域貢献活動に参加するきっかけとなることを願っている。



磐城石川駅舎の清掃



駅周辺の草刈り

事例 B3-09：福島県

公園周辺の清掃美化活動（鈴五建設工業（株））

鈴五建設工業（株）は、平成 27 年より、福島県伝統の花火大会「浅川の花火」に合わせ、浅川町内の八紘園周辺で、清掃美化活動を実施している。

平成 29 年度は、7 月 7 日、社員 10 人が参加して、園内の草刈りや枝払いに汗を流した。

江戸時代から続く「浅川の花火」は、毎年多くの帰省客や見物客が集まる浅川町の重要なイベントであり、散歩道が整備された八紘園は、そうした人々の憩いの場となっている。

同社は、今後も町内の各種イベントの環境を整備することで、地域に貢献したいと考えている。



八紘園内の草刈り

事例 B3-10：神奈川県

道路の清掃美化活動（工藤建設（株））

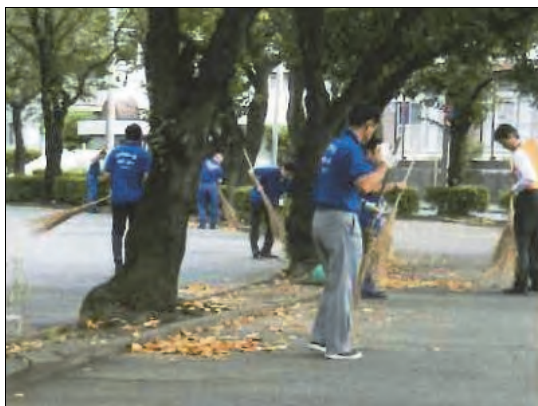
工藤建設（株）は、平成 17 年に本社周辺、平成 19 年からは営業所周辺の清掃美化活動を開始し、平成 24 年には、横浜市の「ハマロード・サポーター」に登録して継続している。

また、神奈川県「森林再生パートナー」として、森林整備のボランティア活動に参加し、青葉区の「フラワーネックレス青葉」に協力して、本社前の歩道にフラワーポットを設置するなど、環境保全活動には特に力を入れている。

同社は、平成 24 年、「横浜型地域貢献企業」に認定され、平成 25 年には「横浜環境行動賞」を受賞しており、今後もさらにこうした活動の輪を広げていきたいと考えている。



横浜型地域貢献企業の認定証



近隣の清掃活動



森林整備のボランティア活動

事例 B3-11：神奈川県

道路の清掃美化活動（(株)小島組）

(株)小島組は、平成 20 年より、「花いっぱいプロジェクト」として、厚木市の本社近くの国道 246 号線沿いで、花壇の植込みや道路の清掃美化活動を実施している。

この活動は、国土交通省横浜国道事務所及び厚木市とのボランティア・サポート・プログラム（VSP）協定に基づくもので、年 2 回、花壇に季節の花を植栽し、月 1 回、花壇の手入れとともに交通量の多い交差点付近の清掃を行っている。

道行く人から掛けられる「ご苦労様」「きれいな花ですね」などの労いの言葉が、社員の励みとなり、この活動を継続する力となっている。



交差点付近の花壇の手入れ

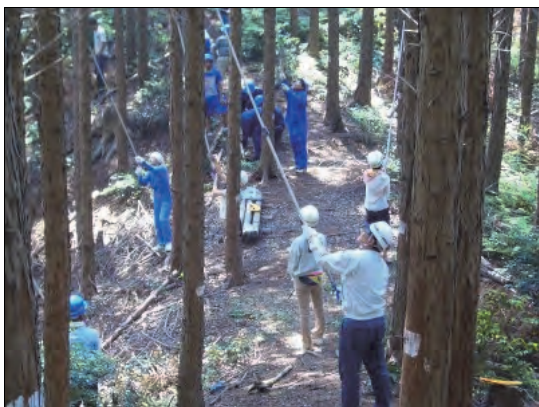
事例 B3-12：静岡県

学校林の整備保全活動（中村建設(株)）

中村建設(株)は、平成 21 年より、「しずおか未来の森サポーター」として、浜松市気賀にあるオイスカ高校の学校林で、生徒らとともに整備保全活動に取り組んでいる。

この活動は、毎年、春と秋に行っており、平成 29 年は、高校生と父兄、先生、同社社員合わせて 36 名が参加した。活動内容は、チェーンソーや鋸を使用しての間伐、高枝切り鉋による枝打ち、また、高低差 250m に及ぶ急斜面の丸太階段の補修、間伐材を加工したベンチの製作・設置など本格的なものである。

同社は、この活動により、平成 24 年の全国育樹祭「森を育てるひと部門」で表彰されており、今後も、森林整備や環境教育に尽力したいとしている。



高枝切り鉋による枝打ち



急斜面の丸太階段補修

事例 B3-13：静岡県

道路・河川の清掃美化活動（(株)鈴恭組）

(株)鈴恭組は、静岡県袋井土木事務所等と締結した「アダプト・ロード・プログラム」の一環として、平成 15 年より、磐田市の県道磐田・天竜線と浜松・袋井線の交差点付近で、歩道や路肩の除草及び清掃美化活動を実施している。

この活動は、毎年 1 回、社員 20 名が参加して行われ、地域と触れ合う良い機会となっている。また、平成 22 年には、地元の「住みよい岩田をめざす会」が実施している「33 番池ふれアイランド整備作業」の草刈ボランティアに加わり、さらに、平成 27 年からは、浜松河川国道事務所の「河川協力団体制度」に応募して、天竜川の河川敷約 4km の清掃美化活動を開始した。同社は、今後も地域の美化活動に積極的に取り組む方針である。



県道交差点付近の除草作業



アダプト・ロード・プログラム看板

事例 B3-14：鹿児島県

公園の清掃美化活動（(株)内門工務店）

(株)内門工務店は、日頃お世話になっている地域住民への感謝の気持ちを形で表すため、平成 22 年より、会社近くの鹿児島市西田公園で清掃美化活動を継続している、

西田公園は、地域の子どもの遊び場として、またお年寄りの交流の場として親しまれており、同社では、毎月初めに社員全員が参加して、園内に捨てられたたばこの吸い殻、空き缶、落ち葉などのゴミ拾いと清掃作業を行っている。今では、散歩中の人々から声を掛けられることも多く、社員にとってそうした触れ合いが毎回の楽しみとなっている。

同社は、地域に愛される企業を目指して、今後もこうした活動を続けたいとしている。



公園休憩所周辺の清掃



園内で拾い集めたゴミ

(4) 社会福祉活動

事例 B4-01 : 北海道

「子供 110 番の車」による防犯活動（清水開発工業(株)）

清水開発工業(株)は、平成 18 年より、「子供 110 番の車」による防犯活動を行っている。

これは、同社が所属する帯広開発道路維持連絡協議会の活動の一つで、通常業務である国道の維持管理及びパトロール中に不審者を発見した際、子どもの保護と警察への通報を迅速に行うこととしている。地域の子どもたちの日常を見守るこの活動は、犯罪抑止の効果も大きく、平成 20 年には、同協議会に対して帯広警察署より感謝状が贈られた。

同社は、今後も協議会の一員としてこの活動が続けるとともに、地域防犯や救急救命活動などにも積極的に協力していく考えである。



道路パトロールカー



「子供 110 番の車」ステッカー

事例 B4-02 : 宮城県

「子ども 110 番パトロール」活動（木皿建設(株)）

木皿建設(株)では、平成 26 年より、宮城県警察・宮城県教育委員会の後援を受け、仙台市立七郷小学校・蒲町小学校、及び通学路の若林区荒井～伊在～蒲町周辺で、子どもたちの登下校時に巡回パトロールを行う「子ども 110 番パトロール」活動を実施している。

また、平成 27 年より、宮城県赤十字血液センターと宮城県建設業協会が取り交した「献血推進活動に関する覚書」に基づき、献血活動を推進しており、さらに、平成 28 年からは、河川の保全活動「広瀬川 1 万人プロジェクト」における一斉清掃にも参加している。

同社は、今後もさまざまな地域活動に積極的に取り組んでいきたいとしている。



地域の小学校周辺での「子ども 110 番パトロール」

事例 B4-03：福島県

日本赤十字社献血活動への協力（八光建設(株)）

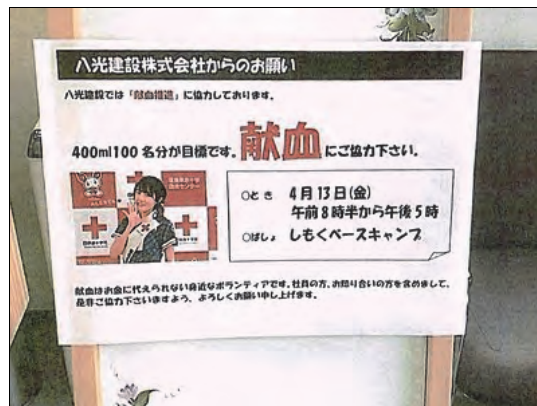
八光建設(株)は、昭和52年より毎年2回、同社及び関連企業の社員による献血活動を行っており、平成29年には日本赤十字社から表彰を受けている。

平成30年4月現在、協力者数は延べ6,382人、採血量は2,000リットルを上回っている。また同社は、平成30年4月、高校生を対象とした「福島っ子のための給付型奨学金制度」を創設し、地域で活躍できる人材の育成支援を開始した。

同社は、創業以来、地域の発展と福祉の充実に貢献することが使命と考えており、今後もこうした社会福祉活動に力を注いでいきたいとしている。



献血会場



献血への協力案内

事例 B4-04：富山県

パトロール隊による地域の防犯活動（ユーシン建設(株)）

ユーシン建設(株)は、平成18年に防犯パトロール隊を結成し、工事現場への行帰りや、その周辺で防犯パトロールを行うなど、地域の防犯活動に力を入れている。

防犯パトロールの外にも、会社に設置した防犯カメラ映像の提供による警察への協力、「振り込め詐欺防止運動」として詐欺防止ハガキの投函、「かぎかけ運動」として社員によるスーパー店頭での呼びかけ、チラシ・メモ帳・ティッシュの配布、のぼり旗による注意喚起など、さまざまな形で防犯活動を展開している。

同社は、平成13年度より特別養護老人ホームへの備品寄贈や寄付も行っており、今後も安全・安心で暮らしやすい地域とするため、何ができるかを考えていきたいとしている。



防犯パトロール車



「かぎかけ運動」の呼びかけ

事例 B4-05 : 兵庫県

日本赤十字社献血活動への協力（株）池内工務店

（株）池内工務店は、平成 12 年より毎年、日本赤十字社の献血活動に協力している。

平成 29 年度は、10 月に明石市立花園小学校、2 月にあかし市民広場において、あかし保健所と共催で献血活動を実施し、多くの人々が協力した。平成 30 年 2 月までの実績は、献血者が延べ 1,809 人、献血量は 646 リットルに上っている。

これら永年にわたる活動に対し、平成 28 年には厚生労働大臣から感謝状が贈られ、平成 29 年には日本赤十字社より表彰を受けた。

同社は、地域に期待される企業を目指して、こうした貢献活動を続けたいと考えている。



小学校での献血活動



あかし市民広場での献血活動

(5) ふれあい活動

事例 B5-01 : 北海道

少年野球大会の開催 ((株)玉川組)

(株)玉川組は、地元恵庭市における健全な青少年の育成を目的に、昭和 59 年より毎年、「玉川組旗争奪少年野球大会」を開催している。

第 34 回大会は、平成 29 年 5 月、恵庭市の恵み野中央公園野球場で開催され、市内の 6 チームが参加して熱戦を繰り広げた。決勝を戦った 2 チームは、北海道軟式少年野球大会の千歳支部大会に駒を進めることになった。

同社は、建設業が地域密着型企业であり、身近で頼りになる存在であることを、多くの少年たちに知ってもらうために、今後も大会を盛り上げていきたいと考えている。



玉川組旗争奪少年野球大会

事例 B5-02 : 北海道

パークゴルフ大会の開催 ((株)西村組)

(株)西村組は、地域住民のコミュニケーションと健康増進を目的に、平成 6 年より毎年、地元の湧別町で「西村組杯パークゴルフ大会」を開催している。平成 29 年大会は、9 月 17 日、町内から 30 人が参加して、湧別町芭露パークゴルフ場で熱戦を繰り広げた。

また、同年 8 月 5 日には、地元の「もんべつ遊びたガリヤフェスティバル」に協力して、イベントを盛り上げた。さらに、教育支援の取組みとして、9 月 24 日には、「この時代の家庭と子育てに必要なこと」と題した講演会を開催し、約 60 人の町民が参加した。

同社は、こうした活動を通じて、地域とのふれあいを大切にしていきたいと考えている。



西村組杯パークゴルフ大会



もんべつ遊びたガリヤフェスティバル

事例 B5-03 : 宮城県

自社工場で夏まつりの開催（(株)八重樫工務店）

(株)八重樫工務店は、子どもたちが建設業に興味を抱いてくれることを期待して、平成25年より、仙台市の自社工場で「やえがし夏まつり」を開催している。

祭りでは、ちびっこが大工さんと触れ合いながら夏休みの工作宿題に挑戦したり、大工さん手製の木製コースでミニ四駆レースを楽しんだり、紅白餅、まき銭、お菓子をまく昔ながらの上棟式を再現するなど、同社が創業以来培った家造りやインフラ整備のノウハウを活かした出し物が特に好評で、毎年多くの参加者を集めている。

同社は、県南随一の「大河原夏まつり花火大会」にも協賛しており、今後も「まつり」をテーマに、地域の頼れるパートナーとしての存在をアピールしたいとしている。



自社工場での「やえがし夏まつり」



スーパーボールすくい

事例 B5-04 : 長崎県

ソフトボール大会の開催（門田建設(株)）

門田建設(株)は、地域住民の余暇の活用と体力・健康の維持・増進を図り、併せて親睦を深めることを目的に、昭和54年より毎年1回、地元の長崎県小値賀町で「門田カップ・ナイターソフトボール大会」を開催している。

この大会は、ナイター開催とすることで、毎日忙しく働く人々の貴重なレクリエーションの場となっており、今では町の恒例行事の一つとして定着している。

同社は、地域に愛される企業を目指して、住民との交流に積極的に取り組んでおり、今後もこの大会を充実させて、地域の人々に楽しんでもらいたいと考えている。



門田カップ・ナイターソフトボール大会



熱戦の後の閉会式

(6) イメージアップ活動

事例 B6-01 : 富山県

地元要望による地域整備活動（梅本建設工業(株)）

梅本建設工業(株)は、受注した能越道路整備事業工事の自社工区が 3 地区に点在することになったことから、工事説明会で各地区住民から身近な要望を伺い、それを十分に取り入れた地域整備活動を実施することにした。

中田地区では、災害時の流出土砂が残っている箇所があったため、土砂を排出処理し、農業用水を修復するとともに、市道の草刈り、蜂の巣駆除、強風後の倒木処理を行った。

北八代地区では、工事箇所からお墓への通路の整備及び階段の設置を行った。

礪部地区では、整備した法面部の昇降路階段入口に、安全性及び美観性向上のために門扉を設置した。

同社では、地域の問題点を創意工夫により解決し、住民の安全性・利便性の向上を図ることが建設業の役割と考えており、地元要望に応えるこうした整備活動を、継続的に実施していきたいと考えている。



市道の草刈り（中田地区）



蜂の巣駆除（中田地区）



強風後の倒木処理（中田地区）



お墓への階段整備（北八代地区）



昇降路階段入口の門扉設置（礪部地区）

事例 B6-02：岡山県

小・中・高校生の現場見学会の開催（(株)三幸工務店）

(株)三幸工務店は、平成 26 年度より毎年数回、岡山県内の小・中学校、工業高校、専門学校生徒を招いて、現場見学会や作業体験、建設機械の乗車体験会を開催している。

平成 29 年度は、岡山国道事務所と県建設業協会が連携して取り組んでいる「未来の土木技術者発掘プロジェクト」に参加して、4 月と 5 月に国道の橋梁下部工事の高校生見学会、11 月に中学生の測量・丁張体験と建設機械の乗車体験、2 月には専門学校生を招いてボックスカルバート工事でのドローン測量見学会などを実施した。

同社では、平成 30 年 2 月に「人・街・自然プロジェクト」を立ち上げることで、将来を担う若者に建設業の素晴らしさを伝える取組みをさらに強化したいとしている。



橋脚下部工事現場見学会



中学生の測量・丁張体験

事例 B6-03：鹿児島県

小・中・高等学校での出前授業の実施（鎌田建設(株)）

鎌田建設(株)は、建設業の魅力や意義を子どもたちに伝えるため、インターンシップ、職場体験を毎年受け入れるとともに、地元の小・中・高等学校で出前授業を実施している。

出前授業では、建設業のイメージアップを図り、建設業の未来を感じてもらえるように、「i-Construction」などの最新技術の紹介に特に力を入れている。

同社はまた、平成 29 年に「女性活躍推進宣言企業」、平成 30 年に「かごしま子育て応援企業」に登録して、女性が働きやすい環境作り、仕事と子育ての両立支援を行っている。

同社は、こうした取組みによって、地域に貢献できる人材を育てたいと考えている。



小学校での出前授業



模型を用いた出前授業